

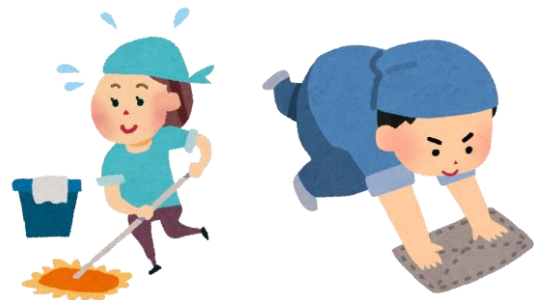
T&M通信

～税務と経営～

今月の経営チェックポイント✓

- 給与所得の年末調整の月です。原則として、本年最後の給与もしくは賞与の支払をするときに計算します。
- 12月、1月決算法人及び個人事業主の方は、賞与等決算対策の準備をして下さい。
- 賞与を支払った場合は、「健康保険・厚生年金保険賞与支払届」の提出が必要です。支給日より5日以内に、年金事務所から送付された届出書を提出してください。
- 今月の祝日は23日（土）天皇誕生日です。
- 税務署、区役所、年金事務所等役所の御用納めは、12月28日（木）です。
- 当事務所は12月30日（土）～1月3日（水）迄お休みさせていただきます。

【注意】扶養控除等申告書内のマイナンバー記入欄にはマイナンバーを記載しないでください！



納税期限スケジュール

- 固定資産税及び都市計画税の第3期分の納付期限は、京都市は平成28年12月28日（木）、大阪市は平成28年12月25日（月）迄です。

着眼点「レジリエンス」

税理士 田中 彰

レジリエンスという言葉が聞かれたことがありますか。私は、これまで聞き慣れない言葉でしたが、最近たまたま耳にするようになりました。

元々は物理学の用語で、ストレス（外部の力による歪み）に対し、レジリエンスは「外部の力による歪みを跳ね返す力」として使われ、次第に精神医学や心理学の世界でも「極度の不利な状況に直面しても、正常な平衡状態を維持することができる能力」という定義で用いられるようになったそうです。

私は物理学や心理学の世界は分かりませんが、私たちの人生や仕事の局面で個人や組織のレジリエンスが注目されているという事は理解できます。現在がストレス社会であり、会社で頑張っているのに上司の評価が低いとか、指示されたノルマが達成できないとか、給与が上がらないので将来の生活が不安とか、経営者の皆さんも毎日の売上や利益の確保に不安を感じているとか、私たちは心が折れそうな場面を幾度となく体験しています。

特に、阪神や東北で起きた大震災を経験された方のストレスは計り知れません。このような震災は社会

的にも大きな爪痕を残します。現在それぞれの都市が災害に強いレジリエンス社会を模索しているという話も聞きます。さらに少子化による人口減少をもたらす日本の構造変化は最大の脆弱性と考えられています。個人が1人の子を育てることは、これまた大変なストレスです。社会的な子育て支援がレジリエンス国家を創ると思います。

少し前にNHKの「折れない心」の育て方～「レジリエンス」を知っていますか？～という番組の中で精神科医の大野先生が、心が折れないための個人的な要素として、①感情のコントロール②自尊心③自己効力感④楽観性の4つを挙げておられます。さらに人間は1人で生きている訳ではなく他の人と一緒に生きる力(人間関係)も大切であると言われていています。成功者はレジリエンス能力が高いと考えられます。この辺りを理解し、「レジリエンス」というものを意識することから始めてみてはいかがでしょうか。

● 最近のデータ保管方法

オンラインストレージサービス。聞きなれない言葉かもしれませんが、インターネット上にデータを保管することができるサービスのことです。身近なところだと、iPhone を使用しておられる方は「iCloud」という名称を聞いたことがあると思いますが、この「iCloud」もオンラインストレージサービスの一種です。

オンラインストレージサービスでは、自分のスマートフォン・パソコンからだけではなく、インターネットに接続できる媒体からであればいつでもどこでも保管しているデータにアクセスすることが可能です。出先で急に資料が必要になった場合でもインターネットを通じてアクセスすることで資料を確認することができ、また、こちらのサービスは複数人で共有することが可能なため、社内での情報共有にも有用です。

セキュリティは大丈夫なのか？という心配もありますが、そこは現物の倉庫業者と同じもので、信頼できる提供先を見つけることができれば十分に便利なサービスとなるのではないのでしょうか。

(文責：亀元 祐希)

● 「A I」人材採用の時代

マネコン vol. 76 の特集になっています。エントリーシートが大量に集まる人気大手企業が、応募者を絞り込む為に利用するのかと思いきや、ソフトバンクの「ペッパーくん」に面接をさせる企業もあるそうです。面接の評価にバラつきがない、時間を有効活用できるという良い面があるそうです。

面接は入り口。人はどんどん変化して行くものですし、それは経験や人との出会いに影響されるものだと思います。いずれにしても、確実に未来を左右する面接。これから先も従来の考え方を打ち破る、どんな斬新な手段や方法が出て来るか楽しみです。

(文責：渡辺 晶子)